

田中 宗知 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 海外のプロサッカー選手(パリ・サン・ジェルマン)

その理由： サッカーを通じて世界中の人々が笑顔で平和で健康にらせる世の中になるようこうけんしたいため。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	10(小4)	・プロチームの練習試合をして、試合のやり方を学ぶ。 ・区の代表選手に選ばれる。	・サッカー観戦代 ・サッカースクール代
2023年	11(小5)	・自分の所属チームが優勝するために努力する。 ・東京の有名クラブの代表選手になれる。 ・将来のために英語を習い始める。	・英語のじゅく代
2024年	12(小6)	・所属チームのマネージャーになる。 ・語学留学に行く海外人とふれあう。	・語学留学代 ・チームのけしや
2025年	13(中1)	・中学のサッカー部に入り、ピッチに選ばれる。 ・外国でこまめに授業をしを受ける。	・サッカー部 ・中学授業代
2026年	14(中2)	・自分のサッカー部が東京都ベスト8に入る。	
2027年	15(中3)	・川崎フロンターレのU15セレクションに合格する。 ・サッカー部主将に選ばれてリーグをみかぐ。	・U15セレクション代
2028年	16(高1)	・川崎フロンターレでプロデビューできるように一生懸命とがする。	・入学金 ・高校授業料
2029年	17(高2)	・プロ(1軍)ベンチ入りをはたす。 ・もく国連で他校と交流する。	・もく国連合宿代
2030年	18(高3)	・プロ初スタメンでゴールを入れる。 ・英検1級取得	・英検授業料
2031年	19	・J1リーグ優勝にこうけんする。 ・オンライン英会話で英語の学習を続ける。	・オンライン英会話料
2032年	20	・オンライン代表選手に選ばれスタメンとして活躍する。 ・日本代表にこうけんする。	
2033年	21	・8泊7日の日本一周旅行をする。 ・プロ生活と大学授業の両方を両立させる。	・旅行代 ・大学授業のじゅく代
2034年	22	・フランスの大学に留学する。 ・J1リーグを優勝する。 ・パリ・サン・ジェルマンにスカウトされる。	・留学代(入学金・授業料) ・リーグ代
2035年	23	・パリ・サン・ジェルマンと契約を締結する。 ・大学で世界平和について学ぶ。 ・フランス語を習い始める。	・フランス語のじゅく代
2036年	24	・大学を卒業する。 ・チームでキャプテンになる。	
2037年	25	・結婚する。 ・チームのマネージャーになる。	・結婚祝い代 ・マネージャー代
2050年	38	・ワールドカップで優勝にこうけんし、大会最優秀選手に選ばれる。 ・本格的なサッカーの指導者になる。	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！

### 「本気で」平和な世の中を作るために

筑波大学附属小学校 四年 田中 宗知

「やった！これでゆめへのスタートを切った。」ぼくはそう思った。小さなころから目標にしていたサッカー品川区代表に選ばれた事でサッカー選手への道のりが始まった。その「ゆめ」というのはサッカーで世界を代表する選手となり、世の中の人々と笑顔で健康で平和にらせる世界を作ることだ。ぼくが生まれてからまだ10年しかたっていないのに、世界中で感せんしようがはやって、会いたい人と会えなくなった、行きたい場所に行けなくなったりして、色々なイベントや活動も中止され、自由がうばわれてきた。

さらに、ロシアの一方的なしん略により、つみのない多くの人たちが毎日ころされてる。テレビでうつしだされるあのざんこくな行いをどうしてだれも止められないのだろうか。また、本気で止めようとしている人はいるのだろうか。ぼくは毎日そう思っているのだが、じょうきようは全く変わらな

い。

そこで、ぼくは考えた。「自分の特技のサッカーで世界有数の選手になれば、人々は自分の考えや思いを聞いてくれるのではないか。」と。だから、世界有数のプレーヤーになるためにはどうすれば良いのかを具体的に考えてみた。

まず、小学校卒業までには、サッカーの技術をみがくと共に、所属チームでリーダースhipをはつきし、英語の学習をこつこつ続けます。そして中学校以こうは、クラブチーム又は選抜チームでレベルの高い仲間にしげきをもらいながら練習にはげみ、勉強もこつこつがんばって説得力のある話ができる人になりたい。その後は、プロサッカー選手の活動と勉学の両立を頑ばりながらたくさんの人々と出会い、言葉や考え方がちがってもおたがいを理解するように努力して、「本気で」平和な世の中を作るにはどうしたら良いのかを発信していきたい。